

第4回 五島市ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 平成28年2月23日(火) 9:30~11:30

II 場 所 五島市役所 3階 中会議室

III 次 第

- 1 開会
- 2 前回議事録確認 【資料1】
- 3 審議
 - 1) ごみ処理施設の整備に関する検討結果について 【資料2】
- 4 確認事項
 - 1) 処理方式について 【資料3】
 - 2) 事業方式について 【資料4】
- 5 その他

IV 出席者 (以下、出席者名簿)

(敬称略)

	氏 名	所属・役職
副委員長	朝倉 宏	長崎大学准教授水産・環境科学総合研究科
委員	出口 秀幸	財政課長
	針崎 善英	建設課長

V 欠席者

委員長 中村 國夫 (生活環境課)

委員 東條 一行 (総務課長)

VI 事務局出席者

五島市生活環境課 太田課長補佐、吉原係長、荒木主幹
株式会社エイト日本技術開発 森、江藤

VII 議事録 (要旨)

1 前回議事録確認

- ・第1回~第3回の議事録を確認した。

第3回までの資料の修正版を確認し、安全・安心という項目を主体に評価した結果、DBO方式

を採用しても問題ないことを確認した。

2 ごみ処理施設の整備に関する検討結果について

- ・五島市ごみ処理施設整備基本計画検討委員会設置要綱第2条第2項の規定による報告書の確認を行った。
- ・処理方式について、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画にて採用を決定している、「ストーカ炉」は、「揺動式」、「竪型火格子式」のどちらを採用しても問題ないものと判断された。
- ・ごみ処理施設の事業方式は「公設民営方式(DBO)」が相応しいと判断された。
- ・DBO方式による委託期間について確認した。最近では20年間としている事例が多く、基幹改良工事を含めた形等を踏まえ、契約方式を検討することとした。
- ・敷地面積が狭いがストックヤードの面積確保が必要との意見が出された。
- ・施設が狭い等の問題で無理があると安全性にリスクが発生するとの意見が出された。

3. その他

- ・「ごみ処理施設の整備に関する検討結果(報告)」については、要綱により市長に報告することを確認した。